

令和7年度第2回 松本市感染症対策委員会 議事録概要

開催日時 令和8年1月21日（水）午後7時00分～7時45分

開催場所 松本市保健所大会議室（Web会議併用）

出席委員（敬称略）小林 正典（松本市医師会）

水野 史（松本市医師会）

田多井 健介（松本薬剤師会）

金井 信一郎（信州大学医学部附属病院）

佐藤 吉彦（松本市立病院）

石井 絹子（長野県看護協会）

伊藤 政子（松本市校長会）

降幡 明生（松本市社会福祉協議会）

二村 勝彦（松本広域消防局）

欠席委員 砂原 優一（松本市歯科医師会）

事務局 保健所長、危機管理課長、保健総務課長、
健康づくり課長、健康づくり課課長、
食品・生活衛生課長、保健予防課長、健康づくり課係長、
保健予防課係長、保健予防課担当

1 開会（司会 保健予防課長）

2 所長あいさつ

3 委嘱状交付（全員 ※各推薦団体の役員等の交代のため）

4 委員長選出（小林正典委員が委員長に選出）

委員長あいさつ

5 議事

(1) 報告事項

感染症予防計画の進捗状況について

事務局より【資料1-1】及び【資料1-2】に基づき、説明。

委員からの質問・意見

委員 感染症サーベイランスシステムの登録数が少ない。原因と何か手立てはあるのか？

事務局 市内医療機関が 254 件、現在登録いただいている医療機関が 46 件となっています。病院ですと、16 施設のうち 11 施設の登録となっており、診療所は 238 施設中 35 施設となっています。発生届の届出がない医療機関も母数となっているのが現状です。新興感染症発生時に備えての取り組みとしては、普段、発生届の届出がない医療機関への働きかけも必要と考えています。

委員 ICTが整備されていない医療機関などもあると思うので、そのあたりも考慮した目標設定が必要ではないかと思う。

SNSの情報配信について、松本市のラインを登録しているが、感染症情報関連のラインはすくないように感じる。もっと若者たちにも情報が届くよう、SNS等の活用をお願いしたい。

委員 人獣共通感染症のSFTSですが、獣医師の感染リスクが高いというところで、獣医師との連携はどのようにされているのか？

事務局 県では、医師会と獣医師会との研修会なども開催されている。今後、市としても獣医師会等と連携を取りながら、感染症についても連携が取れるようにしていきたいと思います。

委員 IHEAT 要員についてですが、どんな職種が登録されていますか？

事務局 市の登録は、現在9名で保健師、看護師の方が多く、1名は理学療法士の方の登録があります。今後は、管理栄養士や歯科衛生士など他の職種の方にも登録していただけるよう働きかけていきたいと考えています。

委員 9ページのウ社会福祉施設等における感染対策の強化の部分で、ICN等の派遣は具体的に誰がどのように依頼するのか？

事務局 実際に新興感染症が発生した際の実績ですが、コロナ対応の時は県の事業として実施していたものがあり、県から看護協会等に依頼をして派遣職員をお願いしていた経緯があります。

今後、新興感染症が発生した際にも同じような依頼方法になるかと思えます。

委員 6ページの松本市立病院との訓練は、どのくらいの人数でどの規模感で実施されたのか？

委員 30人くらいの人数で実施した。松本市保健所、松本保健福祉事務所、松本市立病院の関係者で机上訓練と現地確認を行った。時間的に2時間程度の訓練で6年ぶりに実施した。

(2) 協議事項

パブリックコメント等の結果に基づく対応について

事務局より【資料2-1】及び【資料2-2】に基づき、説明。

委員からの質問・意見

委員 一般市民へのパブリックコメントについてはどのように周知しているのか？

事務局 ホームページ等で周知している。

委員 パブリックコメントが1件あったとあるが、この意見に対し回答はどのようにするのか？

事務局 議会等で報告し、最終的には意見をいただいた方へ回答をお返りするようになります。

委員 厚生委員協議会で聴取した意見の回答はどのような対応になるのか？

事務局 パブリックコメントと同様、ホームページに掲載となります。

委員 厚生委員協議会の意見はどのように聴取しているのか？対面なのか？書面なのか？

事務局 委員会を開催し、対面で聴取しております。

委員 意見の中で、「後遺症」とあるが、感染症自体の後遺症のことなのか？ワクチンに関する後遺症のことなのか？

事務局 この「後遺症」については、感染症自体の後遺症と認識しています。

委員からの質問、意見等なし → 可決

6 その他
特になし

7 閉会